

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 5日

事業所名 放課後等デイサービスビリーブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定員については、指導訓練室などのスペースは十分である。隣接地に二号館を開設し、定員に合わせて利用者の分散化を図っている。今秋、三号館を開設。	
	2	職員の配置数は適切である	○		配置基準十一名以上(常勤換算)の加算の職員配置をすると共にそれ以上の人員を配置している。また、送迎時には違反とならないように、複数送迎時には確実に、職員での送迎となるようにしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		民家を借りているため、大規模な改修が難しい。今現在、バリアフリーが必要な利用者はいない。必要に応じて見守り援助等している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		事業所内の会議を定期的に行い、その中で行っている。	事業所内の会議を定期的に行い、その中で行っているが、勤務状況などによって周知できていない部分もあるため改善していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		一年ごとに実施し、評価・振り返りを行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケート結果を取りまとめ、HPにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		行っていないが、今後検討。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		入職時の研修はもとより、研修計画に基づいて研修を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用開始前に評価・面談(児童のアセスメント・保護者からの聴き取り)、支援会議を行った上で支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所共通のアセスメントシートを利用し内容の見直しも行き情報も更新できるようにしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		予約表の作成時に話し合いを行うと共に、必要に応じて児発管や担当者を中心に情報共有・活動プログラムの調整を行って進めている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個々の課題等をイベント活動を通して出来ることなどを考えイベント内容を工夫をしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇中は、利用児童や保護者のニーズを確認し、企画・プログラムを作成している。イベント担当も変わりながら、内容や時期など配慮し、工夫して計画している。活動の支援なども注意しながら進めている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	○		評価面談やモニタリング面談、日々の活動の中で、児童や保護者の状況・ニーズを確認しそれぞれの課題に合わせた計画を作成している。	
	15	○		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	
	16	○		支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	
	17	○		日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	
	18	○		定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	
	19	○		ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	
関係機関や保護者との連携	20	○		今年度は感染症拡大防止の対策で、書面でのやりとりになっている。保護者とはその都度連絡を取っている。	
	21	○		送迎学校数も多い為、連絡・確認など早めに連絡をとらせていただいている。子どもの様子なども送迎の際に情報共有を行っている。	
	22	○		今現在、医療的ケアが必要な利用者はいないが、情緒・行動の安定等のため薬を服用している利用者については、定期的に連絡を取り合っている。	
	23	○		情報共有を行っている子もいればできていない子もいる。情報が必要な場合は連携をとっている。	情報が必要な場合は積極的に連携を図る。
	24	○		これまでに対象となる児童はいないが、必要であれば行く。	
	25	○		専門療育実施機関同士の情報共有は定期的に行っている。	
	26		○		感染症が落ち着いたら今後検討していきたい。
	27	○		基幹相談支援センターが主催する会議等に参加している	
	28	○		毎回の利用時、連絡帳や送迎の際に、保護者と情報共有する機会を作っている。	
29	○		必要な保護者については、助言などを行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に全員に説明している。変更があった時など必要に応じて文書を配布している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		子育て等の悩みや相談に関して回答など難しい場合は経験がある管理者に情報を伝え、電話等で迅速に対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		毎年交流会を開催していたが、今年は感染症拡大防止の影響もあり実施出来ていない。だが年度末に各ご家庭ごと懇談会を予定している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		日々情報共有しながら、苦情に関しては担当者や管理者に報告し、管理者が最終的な判断や対応を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動内容についての写真や保護者様宛の文書などで発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報漏洩防止の為、社外への持ち出しは禁止している。また、就業時の誓約書や規定などでも注意喚起している。	それぞれ意識して業務を行う。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		口頭でのやり取りだけではなく、必要であれば視覚的なツールを使用したり、理解内容を確認する等の配慮を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		それぞれのマニュアルを作成し、職員や保護者様に配布し周知に努めている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		消防署等と連携して行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			研修実施を計画している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		対象となる利用者は現在、在籍しておらず、必要なケースが出てきた際には、十分に話し合いを重ね支援方法を検討する。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		対象になる利用者は現在在籍していない為、後必要に応じて対応していく。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		その都度管理者に報告し、職員間での情報共有、報告書にて記録を残す対応を行っている。	